

検査内容変更のご案内

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り、誠に有り難く厚くお礼申し上げます。
この度、外部委託先から下記の項目について、検査内容変更(検査中止に伴う新規受託)の案内がありましたのでお知らせいたします。急な変更で先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。
今後とも当検査センターをご利用くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

●変更期日：令和3年3月6日(土) 受付分から

●変更対象項目

現行 項目No	変更対象項目	変更等理由
1402	活性型レニン定量	試薬製造中止による検査受託 中止。 代替項目の詳細は次頁以降を ご覧ください。
1411	アルドステロン	
1412	アルドステロン pg	
2360	尿アルドステロン	
1431	PAC/PRA (アルドステロン・レニン活性比)	
新規受託	PAC/ARC (アルドステロン・活性型レニン定量比)	

※レニンとアルドステロンは血圧調節に働く物質で、レニン-アンギオテンシン-アルドステロン系(RAA系)として知られています。日本内分泌学会による「原発性アルドステロン症(PA)診断の手引き」では、PAスクリーニング法として、血漿アルドステロンと血漿レニン活性または活性型レニン定量を測定し、その比を目安にすることを推奨しています。この度、アルドステロン検査および活性型レニン定量検査において、CLEIA法試薬による検査を導入し、受託を開始いたします。今回アルドステロン検査で使用する試薬は、日本内分泌学会の公告に基づき開発された標準化対応試薬となります。

なお、検査依頼書の項目Noの表記は現行のままですが、ご了承ください。ご不明な点がありましたら下記にご連絡ください。

(担当：検査課 中田、山口、加藤 検査室 直通電話番号076-239-3832)

◆活性型レニン定量 [現行 項目No1402]

	新	現行
項目 No	1432	1402
項目名	活性型レニン定量/C	同左
JLAC10 コード	4Z020-0000-022-052-01	4Z020-0000-022-006-01
検体必要量	血漿 0.5mL	血漿 0.7mL
容 器	B7⇒BO	同左
保存方法	凍結(血漿を分離できない場合は冷蔵)	同左
所要日数	3~4 日	同左
検査方法	CLEIA 法	IRMA 法(RIA・固相法)
基準値	2.21~39.49 pg/mL	臥位：2.5~21.4 pg/mL 立位：3.6~63.7 pg/mL
報告範囲、桁数	0.20 未満~1000000 以上、小数点第 2 位	2.4 以下~最終値、小数第 1 位
保険点数/判断料	108 点/144 点(生化学Ⅱ)	同左
備 考	早朝 15 分以上座位にて安静後、指定の容器に採血してください。十分混和し速やかに遠心、血漿分離してください。 報告値が 10000.00 以上となる場合は、別紙報告となりますのでご了承ください。	早朝安静状態で採血。 ヘパリン血漿不可、速やかに冷却遠心、血漿分離してください。

【検査方法の参考文献】佐藤文俊、他：医学と薬学 76,1827-1832, 2019

◆アルドステロンとアルドステロン pg [現行 項目No1411 と 1412]

	新	現行
項目 No	1441	1411 アルドステロン
項目名	アルドステロン/C	1412 アルドステロン pg
JLAC10 コード	4D115-0000-022-052-01	4D115-0000-023-005-01
検体必要量	血漿 0.5mL	血清または血漿 0.6mL
容 器	B7⇒BO	同左
保存方法	凍結(血漿を分離できない場合は冷蔵)	同左
所要日数	3~4 日	同左
検査方法	CLEIA 法	RIA・固相法
基準値	4.0~82.1	随時：3.6~24.0 (35.7~240.0) 臥位：3.0~15.9 (29.9~158.8) 立位：3.9~30.7 (38.9~306.8)
単 位	pg/mL	アルドステロン：ng/dL (アルドステロン pg：pg/mL)
報告範囲、桁数	4.0 未満~2000000.0 以上、小数第 1 位	10.0 以下~最終値、同左
保険点数/判断料	125 点/144 点(生化学Ⅱ)	同左
備 考	早朝 15 分以上座位にて安静後、指定の容器に採血してください。十分混和し速やかに遠心、血漿分離してください。 報告値が 100000.0 以上となる場合は、別紙報告となりますのでご了承ください。	早朝安静状態で採血。 レニン活性、活性型レニン定量と共用する場合は、速やかに冷却遠心、血漿分離してください。

【検査方法の参考文献】佐藤文俊、他：医学と薬学 76,1819-1826, 2019

◆尿アルドステロン [現行 項目No2360]

	新	現行
項目 No	2370	2360
項目名	尿アルドステロン/C	同左
JLAC10 コード	4D115-0000-004-052-01	4D115-0000-004-005-01
検体必要量	蓄尿 1.0mL (一般尿 1.0mL)	同左
容器	BO	同左
保存方法	凍結	冷蔵
所要日数	4~6日	同左
検査方法	CLEIA 法	RIA・固相法
基準値	1.0~19.3	7.5 以下
単位	μg/day (一般尿: pg/mL)	同左
報告範囲	0.1 未満~最終値 (一般尿: 68.3 未満~60000000 以上)	0.1 以下~最終値 (一般尿: 300.0 以下~最終値)
報告桁数	小数第 1 位	同左
保険点数/判断料	125 点/144 点(生化学Ⅱ)	同左
備考	添加剤無しで 24 時間蓄尿し、尿量測定後、速やかに必要量を凍結して提出してください。ご依頼時に尿量をご記入ください。	トルエン 1~2mL を加え 24 時間蓄尿。尿量を記入し必要量を提出してください。

【検査方法の参考文献】佐藤文俊、他：医学と薬学 76,1819-1826, 2019

◆PAC/PRA(アルドステロン・レニン活性比) [現行 項目No1431]

	新	現行
項目 No	1461	1431
項目名	PAC/PRA	アルドステロン・レニン活性比
JLAC10 コード	4D120-0000-022-919-02	同左
所要日数	4~5日	3~4日
検査方法	計算法	RIA・固相法、EIA 法
基準値	比: 200 以下(カットオフ値)	アルドステロン及びレニン活性参照
単位	PAC RIA 相当値: pg/mL 比: なし	PAC: pg/mL、PRA: ng/mL/hr、 PAC/PRA: なし
報告範囲	PAC RIA 相当値: (*補正式より算出) 47.0 未満~2348000.0 以上 比: 1~10000000	PAC: 10.0 以下~最終値 PRA: 0.2 未満~450.0 以上 PAC/PRA: 1~9999
報告桁数	PAC RIA 相当値: 小数第 1 位 比: 整数	PAC、PRA: 小数第 1 位 PAC/PRA: 整数
備考	PAC/PRA(アルドステロン/レニン活性比)は、アルドステロン CLEIA とレニン活性の 2 項目と同時にご依頼ください。 *PAC RIA 相当値の計算式 RIA 相当値=アルドステロン CLEIA 値×1.174+42.3 報告値が 100000.0 以上となる場合は、別紙報告となりますのでご了承ください。	アルドステロン及びレニン活性参照。 アルドステロン、レニン活性の各測定値も報告いたします。

◆PAC/ARC(アルドステロン・活性型レニン定量比) [新規]

	新
項目 No	1462
項目名	PAC/ARC
JLAC10 コード	4D122-0000-022-919-02
所要日数	4~5 日
検査方法	計算法
基準値	比：40 以下(カットオフ値)
単位	PAC RIA 相当値：pg/mL 比：なし
報告範囲	PAC RIA 相当値：(*補正式より算出) 47.0 未満~2348000.0 以上 比：1~10000000
報告桁数	PAC RIA 相当値：小数第 1 位 比：整数
備考	PAC/ARC(アルドステロン/活性型レニン定量比)は、アルドステロン CLEIA と活性型レニン定量の 2 項目と同時にご依頼ください。 *PAC RIA 相当値の計算式 RIA 相当値=アルドステロン CLEIA 値×1.174+42.3 報告値が 100000.0 以上となる場合は、別紙報告となりますのでご了承ください。

アルドステロン・レニン比をご依頼する際の注意事項

- アルドステロン・レニン比は「アルドステロン+レニン活性+PAC/PRA」または「アルドステロン+活性型レニン定量+PAC/ARC」の同時依頼があった場合のみ結果報告いたします。
- アルドステロン・レニン比の PA スクリーニングカットオフ値は従来の RIA 法アルドステロン値を元に設定されております。そのカットオフ値を継続して使用するために、アルドステロン CLEIA 値を RIA 相当値として補正したデータを使用して算出いたします。
- アルドステロン・レニン比は、アルドステロンの RIA 相当値と比の 2 つの結果をご報告いたします。

参考 URL：http://www.j-endo.jp/modules/news/index.php?content_id=55

(日本内分泌学会：日常臨床におけるアルドステロン測定標準化に関する運用指針(第二版))